



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日
上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社
コード番号 4574 URL <https://www.seirogan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理部長 (氏名) 中條 亨 MAIL ir@seirogan.co.jp
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,150	△16.5	44	△79.5	11	△95.1	292	△38.1
2024年12月期第1四半期	1,377	18.0	214	—	229	—	472	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 15百万円 (△97.5%) 2024年12月期第1四半期 624百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	5.83	—
2024年12月期第1四半期	9.41	—

(注) 1. 2024年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	12,161	7,979	65.6
2024年12月期	12,914	7,964	61.7

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 7,979百万円 2024年12月期 7,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2025年12月期の配当予想につきましては、現時点では「未定」といたします。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	0.1	215	△65.9	200	△70.9	300	△66.6	5.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 大幸薬品インターナショナル株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期1Q	50,636,900株	2024年12月期	50,636,900株
② 期末自己株式数	2025年12月期1Q	443,189株	2024年12月期	443,189株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期1Q	50,193,711株	2024年12月期1Q	50,149,764株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人旅行者数の増加等により、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、継続的な物価の上昇による消費の減速懸念や為替変動の影響等、依然として景気の見通しは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは医薬品事業において、市場への安定供給という課題に対し、供給体制を強化するため、製造人員の増強、2024年8月9日に公表した生産体制の再編に向けた準備等に取り組んでまいりました。また、感染管理事業では二酸化塩素のエビデンス強化に係る研究開発を通じた消費者の皆様への信頼醸成や、売上規模に応じたコストコントロール等収益性の改善施策に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、主に海外向けの医薬品事業の減収により、対前年同期比16.5%減の1,150百万円となりました。売上総利益につきましては、医薬品事業の減収影響等により、対前年同期比15.0%減の679百万円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、感染管理事業における広告宣伝費の増加等により、対前年同期比8.7%増の634百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は対前年同期比79.5%減の44百万円、経常利益は対前年同期比95.1%減の11百万円となりました。特別利益につきましては、投資有価証券売却益347百万円や医薬品事業の仕入取引に関連し取引先より受領した受取補償金10百万円を計上しております。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、対前年同期比38.1%減の292百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内市場における市場規模が対前年同期比で110.4%となりました。堅調な需要に対し、「正露丸」につきましては、中期的な供給体制強化に向けた取り組みの一環として製造設備の更新等の準備を進めてまいりました。また、京都工場の医薬品ラインが本格的に稼働したこと等により安定供給が可能な「セイロガン糖衣A」及び「正露丸クイックC」につきましては、営業・マーケティング施策の強化をおこない、新規ユーザーの拡大に取り組みました。しかしながら、「正露丸」の供給課題は依然解消に至らず、特に海外向けは十分な供給ができない状況が継続いたしました。

この結果、国内向けの医薬品売上高につきましては、対前年同期比8.0%減の903百万円となりました。また、海外向けにつきましては、対前年同期比66.2%減の86百万円となりました。

これらの結果、医薬品事業につきましては、対前年同期比20.0%減の989百万円の売上高となりました。また、セグメント利益につきましては、主に減収影響により、対前年同期比35.8%減の314百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳 (医薬品事業)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
国内	981	903
海外	254	86
合計	1,236	989

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、国内のインフルエンザ流行時期にあわせてWEBでの広告を強化する等、効果的なマーケティング費用の投下等コストコントロールに努め、収益性の改善に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は対前年同期比で19百万円増加の160百万円となりました。また、セグメント損失につきましては、主に増収影響等により、対前年同期比で2百万円改善し62百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（感染管理事業）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
国内：一般用	80	96
国内：業務用	51	50
海外	9	13
合計	140	160

（その他事業）

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は1百万円、セグメント損失につきましては5百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は12,161百万円（前連結会計年度末比753百万円減）となりました。また、負債合計は4,181百万円（同768百万円減）、純資産合計は7,979百万円（同15百万円増）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少等による流動資産354百万円の減少、投資有価証券の売却等に伴う固定資産399百万円の減少、支払手形及び買掛金や賞与引当金の減少等による流動負債394百万円の減少、長期借入金の返済等による固定負債374百万円の減少、主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上等による純資産15百万円の増加であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想につきましては、2025年2月13日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,532	4,673
受取手形及び売掛金	2,428	1,716
商品及び製品	452	664
仕掛品	652	658
原材料及び貯蔵品	571	549
その他	124	145
流動資産合計	8,761	8,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	953	933
機械装置及び運搬具(純額)	536	568
土地	1,675	1,675
建設仮勘定	11	26
その他(純額)	95	86
有形固定資産合計	3,271	3,291
無形固定資産	27	27
投資その他の資産		
投資有価証券	461	0
その他	391	433
投資その他の資産合計	852	433
固定資産合計	4,152	3,753
資産合計	12,914	12,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	338	246
1年内返済予定の長期借入金	1,206	1,206
未払金	716	645
未払法人税等	12	3
返金負債	69	70
賞与引当金	176	27
転貸損失引当金	11	11
移設撤去費用等引当金	88	90
その他	236	158
流動負債合計	2,855	2,460
固定負債		
長期借入金	792	421
長期未払金	549	549
転貸損失引当金	15	13
退職給付に係る負債	655	667
資産除去債務	20	20
その他	60	48
固定負債合計	2,094	1,720
負債合計	4,949	4,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	10	10
資本剰余金	4,997	4,997
利益剰余金	2,526	2,819
自己株式	△273	△273
株主資本合計	7,260	7,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	—
為替換算調整勘定	468	426
その他の包括利益累計額合計	703	426
純資産合計	7,964	7,979
負債純資産合計	12,914	12,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,377	1,150
売上原価	578	471
売上総利益	799	679
販売費及び一般管理費	584	634
営業利益	214	44
営業外収益		
受取利息	8	4
為替差益	11	—
その他	4	0
営業外収益合計	25	5
営業外費用		
支払利息	2	1
賃貸費用	4	0
為替差損	—	32
支払手数料	3	1
その他	0	2
営業外費用合計	10	38
経常利益	229	11
特別利益		
投資有価証券売却益	—	347
受取補償金	200	10
特別利益合計	200	357
税金等調整前四半期純利益	429	368
法人税、住民税及び事業税	18	6
法人税等調整額	△61	70
法人税等合計	△42	76
四半期純利益	472	292
親会社株主に帰属する四半期純利益	472	292

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	472	292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△234
為替換算調整勘定	57	△42
その他の包括利益合計	152	△277
四半期包括利益	624	15
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	624	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,236	140	1	1,377	—	1,377
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,236	140	1	1,377	—	1,377
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	489	△64	△2	421	△207	214

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	989	160	1	1,150	—	1,150
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	989	160	1	1,150	—	1,150
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	314	△62	△5	246	△202	44

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	63百万円	60百万円

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結累計期間において、大幸薬品インターナショナル株式会社は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。